

学生のアイデアをベースに 寝屋川キャンパス広場がリニューアル

2023年8月に寝屋川キャンパス広場が完成予定です。大阪電気通信大学に在籍する学部生・大学院生を対象としたコンペティションで広場の設計案を決定しました。選ばれたのは、大学院工学研究科建築学コース2年(選考時は工学部建築学科4年)の高橋さん、武田さん、松本さんの3人チームの案です。



テーマは「新しい円形広場を通じて、人と人がつながる新しい体験を生み出すこと」大学にみんなの居場所をつくりたいという思いが背景にあります



OECUイノベーションスクエアやJ号館、食堂ラウンジなどの大学施設と広場の自然なつながりを意識しました

図面に描いた線ひとつで、広場での過ごしやすさはもちろん、工事費用も変わることを経験「一本の線の大切さ」を実感したといいます



造形デザインコンペで受賞した学生のベンチをキャンパスに設置。セメント系3Dプリンターで造形しました

特色の一つです。多目的製図室や構造実験棟、木工室といった施設の他、金属の造形が可能な機械など、先進の設備も充実しています。「実践を通じた学びは本学の最も得意とするところ。実務経験

豊富な教員が多数を占め、現在もさまざまな産官学連携プロジェクトを手がけています。新学部でも、実社会と関わりながら学ぶ機会を積極的に提供していきます」
新学部の学びの場となる寝屋川

キャンパスは、23年秋にリニューアルの完了を予定しています。その中核を成すのが、OECUイノベーションスクエアです。学科や研究室を隔てる壁を取り払ったオープンな空間が特徴。学部・学

科を超えて人と人が出会い、新しい発想が生まれる環境を実現しています。

「建築・デザインは、工学と芸術、心理学など多様な知と技術を結集した総合的な学問です。文系・理系に関係なく面白さを見つけることができます。物理や数学を基礎から学べるカリキュラムを用意し、入学してから必要な力を鍛える仕組みもありますから、心配はいりません」と語った上善教授。「建築・デザイン学部ならきっと、どんな人も好きなことを追求しながら、社会に求められる魅力ある人材に成長できる。そう自信を持っています」。その力強い言葉に、新学部への期待が高まります。

2024年4月、建築・デザイン学部(仮称・設置届出中)が誕生

建築とデザイン、そしてICT 時代が求める人材を育てる新学部

2024年4月、大阪電気通信大学に新学部「建築・デザイン学部」が開設されます。

「建築×デザイン×ICT」という画期的な教育について、学部長に就任予定の上善恒雄教授が語りました。

建築とデザインを学べる 新学部を開設

大阪電気通信大学は、社会に役立つ力を育む「実学」を貫き、多様な分野に多くの人材を輩出。例年採用企業から高い評価を獲得しています。社会のニーズに柔軟に対応し、新たな教育展開にも果敢に挑む同大学が、2024年4月、「建築・デザイン学部」の開設を予定しています。

学部長に就任予定の上善恒雄教授は「新学部には『建築専攻』(仮称)と『空間デザイン専攻』(仮称)の2専攻を設置。今ある工学部建築学科を発展させ、学びの幅を大きく広げます」と紹介します。

注目は、新たな柱として「デザイン」に関わる学びを強化するところ。建築という、工学のイメージを持たれがちですが、本来デザインとは不可分なものです。社会でも、機能だけでなく、デザイン性にも優れたものに対する需要が高まっていますが、建築とデザインについては高度に学べる大学は、なかなかありません」とデザインの重要性を語りました。

「建築×デザイン×ICT」という画期的な教育について、学部長に就任予定の上善恒雄教授が語りました。

のデッサン、デジタルツールを使ったグラフィックデザインなど、多様な手法で表現力と感受性を磨きます。「いまやメタバースなどの仮想空間にもデザインのフィールドは広がっています。そのためVRやAR、AIといった新しいテクノロジーも積極的に学びに取り入れます」

インテリアや家具のデザイン、データサイエンスなどを専門とする教員など、多彩な教員が教鞭をとることも魅力です。将来はインテリアコーディネーターや空間デザイナーとして建築・住宅業界への就職はもちろん、デザインのセンスや技術を多様な分野に生かす道も開けます。

一方の建築専攻は、一級建築士の受験資格に必要な科目をはじめ幅広い関連分野の科目が充実。建築技術者に必要な高い知識とスキルを身につけられます。

もう一つ建築・デザイン学部が柱に据えるのが、ICT教育です。建築の次世代ツールとして普及が進む「BIM(Building Information Modeling)」をいち早く導入しているのも、その一つです。ソフトと専用の高性能パソコンを揃

えた「BIMステーション」を設置。学生はBIM実習などを通じて実際に使いながら基礎を習得できます。またデータサイエンスやIoTなど先進の情報技術を活用するための学びが揃うのも、同学部ならではの学びです。

「建築分野でもICTは不可欠なものになっていきますが、それを使いこなせる人材はまだ不足しています。ICTの知識やスキルは、他にはない強みになります。さらには建築やデザインの素養を生かしてICT業界やその他の幅広い分野で活躍する道もあります」と、進路の可能性は想像以上に多岐にわたります。

実践を通じた学びに あふれた新キャンパス

学ぶ環境の豊かさ、同大学の



Junzo Jozen
大阪電気通信大学
上善 恒雄 教授
建築・デザイン学部長(就任予定)